

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000 円) 上記は 2025 年 11 月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方) : パスポート新規申請代 (5 年用 11,000 円 / 10 年用 16,000 円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) 中国入国にはパスポートの残存有効期間が入国時に 6 ヶ月以上が必要です。(+2 週間以上の有効期間が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金 : 35,000 円 (ホテルは基本 2 名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金 : 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。
この旅行は2025年11月25日現在を基準としています。

■旅行契約の解除

参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。

<取消料>

お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの

- ①企画手配料金および手配料金
- ②交通費 : 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、フェリー
- ③宿泊費 : 旅程表記載のホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) の基本宿泊料および税、サービス料 (基本 2 名一室)
- ④食事代 : 旅程表明示
- ⑤見学施設の入場料
- ⑥現地ガイド費用
- ⑦添乗員同行費用

■旅行代金に含まれないもの

- ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
- ②個人的費用 : 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
- ③航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000 円) 2025 年 11 月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ⑥お一人部屋料金 : 35,000 円
- ⑦日本国内の交通費、前泊の費用
- ⑧海外旅行傷害保険料

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4

総合旅行業務取扱管理者 : 西須 輝理

営業時間 : 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日 : 土日・祝日)

ホームページ : <http://www.fits-tyo.com/>

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第84号

JATA正会員



株式会社 富士国際旅行社

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201

fujikokusaionline@gmail.com 担当: 西須・山田・川村・小島

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 台北・緑島 台湾の人権と民主主義の歴史をたどる旅 ★

2026年4月14日(火)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () -	【fax】 () -		
	【携帯】 -			
	【e-mail】			

台北・緑島 台湾の人権と民主主義の歴史をたどる旅

5日間



旅行期間

2026年4月14日(火)～4月18日(土)

旅行代金

245,000円
(羽田発着)

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料30,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員

20名様 (最低実施人員10名)

※関西空港発着ご希望の場合、航空便に空席があれば可能です。空席・ご料金は旅行社へお問い合わせください。

申込締切

3月13日(金)

添乗員

羽田空港から同行します。

※締切日以降も航空便やホテルに空席があればご参加いただけます。ただし空席状況によりご料金が変わる場合がございます。お問い合わせください。

CHECK POINT

- 台湾の戦後を深く知り、人権と民主主義のために闘ってきた歴史の現場を回ります
- 台北近郊と離島にある国家人権博物館の二つの分館を一度に見学し、独裁政権下の人権侵害を全面的に学びます
- 電車から東海岸の風景を眺め、離島を一周するなど、台湾の景色を満喫できます

※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株) 富士国際旅行社

観光庁長官登録旅行業第84号・JATA正会員

台北・緑島 台湾の人権と民主主義の歴史をたどる旅 旅程表

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 4/14 (火)	羽田空港発 台北松山着 関西空港発 台北桃園着	航空便 航空便 専用車	<p><羽田空港発:添乗員1名同行> 集合予定時刻:午前8時50分頃 空路✈台北松山空港へ【時差:日本側が1時間進む/所要3時間40分】</p> <p><関西空港発> 集合予定時刻:午前9時10分頃予定 空路✈台北桃園空港へ【時差:日本側が1時間進む/所要2時間55分】</p> <p>着後、羽田出発組、関西出発組それぞれ専用車台北市内へ <台北市内見学> ●二二八国家紀念館(入館) 見学後、参加者全員合流 ●二二八和平紀念公園、事件のモニュメント ●台湾総統府(外観)</p> <p>★夕食レストランにて参加者交流会 ホテル着、チェックイン</p>
② 4/15 (水)	ホテル発 台北	専用車	<p><台北市内見学> ●国家人権博物館 景美人権園区(入館) ●鄭南榕紀念館(入館) ●済南教会/義光教会など、民主化に関連するスポット</p>
③ 4/16 (木)	ホテル発/台北駅着 台北駅発/台東駅着 富岡港発 緑島港着	MRT電車 フェリー 専用車	<p>早朝ホテル発、MRT(台湾の地下鉄)にて台北駅へ移動 台北駅から電車で台東駅へ 富岡港からフェリーで緑島へ</p> <p>着後、緑島内一周見学</p>
④ 4/17 (金)	緑島港発/富岡港着 大東駅発/台北駅着 台北駅発/ホテル着	専用車 フェリー 電車 MRT	<p>●国家人権博物館 緑島人権園区(入館) フェリーで再び富岡港、台東へ 電車、MRTを乗り継ぎホテルへ ◆夕食は、電車内で有名な台鉄弁当</p>
⑤ 4/18 (土)	台北桃園着 台北桃園発 関西空港着 台北松山着 台北松山発 羽田空港着	専用車 航空便 航空便	<p><台北市内見学> ※関空組、羽田組、専用車2台で移動 ●中正紀念堂常設展(入館)</p> <p>関空組:台北桃園空港へ 航空会社チェックイン 空路✈帰国の途へ (関西空港17:15頃着予定)</p> <p>羽田組:迪化街周辺にて各自で自由食と散策 (希望者は日本語ガイドと添乗員がご案内します) 台北松山空港へ 航空会社チェックイン 空路✈帰国の途へ (羽田空港20:00頃着予定 ※後泊手配承ります。別途料金)</p>

- 手配上・現地のご都合により、訪問日時や順序が入替わり場合がございます。
- 旅程表のマーク:○=食事付き、X=自由食、機=機内食 弁=お弁当 ●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料またはサービスが無くなった場合は各自でお取り扱いいただきます
- 利用航空会社:エバー航空、ユニエアー、マンダリン航空 ●宿泊予定ホテル(基本2名1室)下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準):台北=ロイヤルライン台北南西館、林森館、シーザーパークタイペイ/緑島=凱薪飯店

旅のポイント・見学先

●二二八国家紀念館

～終戦後(1947年2月28日)、外省人と本省人の間に起こった事件～



第二次世界大戦終了後、台湾が中華民国に接收された後に起こった二二八事件についての記念館。やみタバコを売っていた女性が取締官に殴られ、近所の住民が殺されたことを契機として、国民党政府に対する住民の抗議活動が全国各地に広がりました。この抗争に対して国民党軍は台湾住民の虐殺を開始し、公式には2万8千人もの住民が犠牲になったといわれています。

●台湾総督府

総統府は日本統治時代の1919年に、台湾総督府として建てられました。当地の日本の威信をかけて設計された台湾総督府はアジアを代表する名建築と呼ばれ、現在は国定古蹟に指定されています。中央には台湾初のエレベーターが設置された高さ60mの塔がそびえたち、正面玄関には着剣した衛兵が立っています。



●国家人権博物館

(白色テロ景美紀念園区・緑島紀念園区)

「白色テロ景美」(当時新店二十張景美軍事拘留所)は戒厳令下の軍事、政治、治安に関する事件が裁判され、政治犯などが拘留された場所でした。多くの政治犯がここで拷問されてから死刑または懲役刑を宣告され、劣悪な環境で監禁されたり、処刑されました。台湾の人権侵害を知る場所として、現在は離島である緑島の元刑務所とともに国家人権博物館となっています。

●鄭南榕基金会・紀念館

鄭南榕さんは、戒厳令下の1984年に100%言論の自由を訴える「自由時代」雑誌を創刊し、二・二八事件の真相究明を訴えるなど、取り締まりの圧力に抗しながら活動しました。戒厳令は1987年に解除されましたが「反乱罪」は改正されず、雑誌の内容で反政府の罪を問われた鄭南榕さんは言論の自由を侵害する不当逮捕に抵抗するために、1989年1月21日から雑誌社の事務所に自分自身を閉じ込め、4月7日突入逮捕時に焼身自殺をされました。焼けたまま残された雑誌社は現在基金会の事務所と記念館となり、言論の自由と民主主義を求める活動を継承しています。

●緑島(グリーン島)

緑島は台湾の東南方の海上にあり、台東市からフェリーで約50分ほどです。日本統治時代には火燒島とよばれ、1949年に現在の緑島と改称されました。火山噴火によってできた島で、周辺はサンゴ礁、海岸線は断崖絶壁の地形を成しています。

白色テロの時代に政治犯を収容した監獄「緑洲山荘」(1972年～1987年)や、政治犯として緑島に送られた人々の名前が刻まれている人権記念碑などがあり、台湾の歴史を学ぶことができます。



台湾基本情報

面積: 3万6197km²
人口: 約2323万3千人(世界年鑑2023)
言語: 中国語(台湾では繁体字を使用)
時差: 日本より-1時間
電圧: 110ボルト(V)、60Hz
※プラグの差込口は日本と同じ

通貨: ニュータイワンドル
気候: 南北に細長い台湾本島は、中央を通る北回路帰線を挟み、北が亜熱帯気候、南は熱帯気候に分けられる。台湾は、1年中温暖で、明確な四季はなく、長い夏と短い冬がある。

台湾味の魅力

台湾料理とは、台湾で食べられる中華料理のうち、主に福建料理をベースとして、台湾で発展した郷土料理です。「食は台湾にあり」といわれるほど、台湾には美味しいグルメが充実しています。定番は小籠包や魯肉飯(ルーローハン)、台湾スイーツや屋台グルメも観光客に人気です。はじめてでも気軽に入れるお店が多く、日本語メニューを用意しているお店もあります。

